

## 世代超える薬師如来像

出雲・本誓寺 安置し無病息災願う

# 世代超える薬師如来像

出雲・本誓寺 安置し無病息災願う

出雲市斐川町神氷の本誓寺で、戦国時代から地域を見守ってきた木彫りの薬師如来像3体のうち1体が新調された。近くの岩屋薬師堂で入魂式が営まれ、約40人が先祖への感謝と今後の無病息災を願った。



安置された薬師如来像を眺め会話する延本秀道住職（左）と中尾芳山さん（左から2人目）と檀家の皆さん＝出雲市斐川町神氷、本誓寺

仏像は16世紀に戦国大名・尼子経久が作らせたといわれる。かつては寺の裏手にある仏経山の岩窟に祭られており、傷みが進んでいた。檀家らが修復を試み、1体を彫刻家の中尾芳山さん（83）＝出雲市大津朝倉1

丁目Ⅱがクスノキを用いて制作した。

檀家や中尾さんによって高さ90センチの仏像が薬師堂に安置された。全員で般若心経を唱えたほか、薬師堂近くを流れる小川にフナを放流。今回のために特別に刷られたお札も配られた。中尾さんは「クスノキは香りが強くて虫がつかない。長く祭っていただけなら」と話した。延本秀道住職（45）は「世代を超えて祈りをつなげていきたい」と話した。

（黒沢悠太）